

令和6年度

松陰高等学校（通信制）評価 総括

丸亀校 高松校

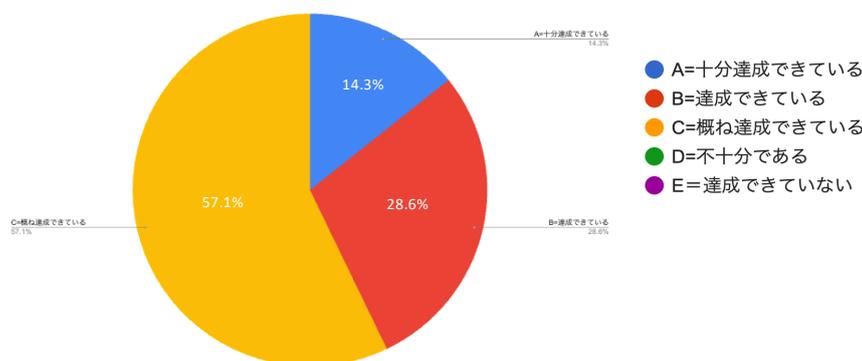
令和7年3月31日

【重点項目】 生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上

【重点目標】

- ・ スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- ・ 学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- ・ 「学習の手引き」の有効な活用
- ・ 個別面談の充実と進路実現へのサポート

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒ひとりひとりをよく理解し、とてもきめ細やかな指導ができていると思う。
- 教材プリントを取り組む形のスクーリングを行ってきた。大変集中して取り組む姿は、評価出来る。また、スクーリングでは、毎回異なる生徒が出席するために名前を含めた繋がりを作ることが課題と課題と思われる。
- 生徒、保護者との連携は定期的な三者面談や電話連絡で行なっている。学習の進度に合わせた対応を行っている。その半面学習意欲が低い生徒の対応に時間を要している。
- 概ね達成できていたが、生徒の状況に応じた個別指導や進路指導をさらに充実させていく必要があると感じており、次年度も指導方法・内容を工夫し充実させていきたい。
- スクーリング、レポートについて、個別指導を更に充実したい。
- 【評価】 個人個人に合わせた学習の仕方の提案は行えている。
【課題】 個々に寄り添った継続的な学習指導とその知識の定着。

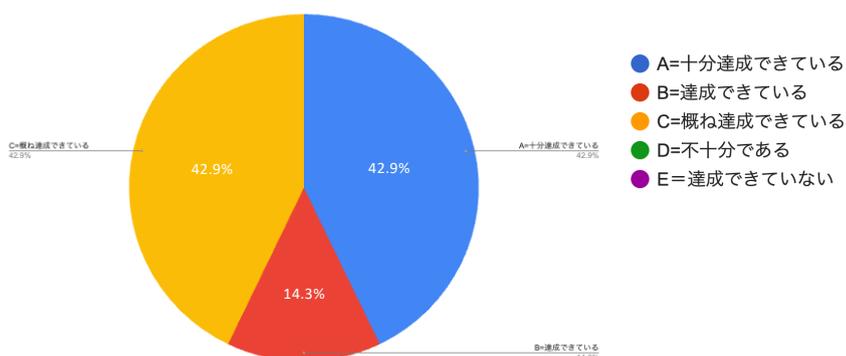
- 定期的な個別面談以外にも生徒の必要に応じて随時行ったのは、状況を学校と家庭で共有するためにも有効であった。また引き続き生徒の状況に応じた個別指導やスクーリングの充実はさらに必要である。次年度も指導方法・内容を工夫していきたい。

【重点項目】望ましい職業感の育成

【重点目標】

- ・一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- ・進路ガイダンス・個別面談の質の向上

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 一人一人をよくみた、とてもきめ細やかな指導ができていると思う。
- 個々に合わせた丁寧な個別指導をしており今後も続けたい。
- 進学ガイダンス、就職ガイダンスは定期的に行い生徒たちの知るきっかけを大切にしている。
- 【評価】全体に向けて進学・就職のガイダンスや学校見学などは1年生の頃から頻繁に行っている。
【課題】全体の説明の場に踏み出せない生徒へのアプローチ。
- 進路説明会を開催することで生徒の進路を見つけるきっかけになったが、生徒が自主的に活動する指導が不十分だったと感じた。次年度は、生徒自身が計画を立てて行動できるような指導を実践していきたい。
- 生徒全員の進路決定が実現するよう努力したい。

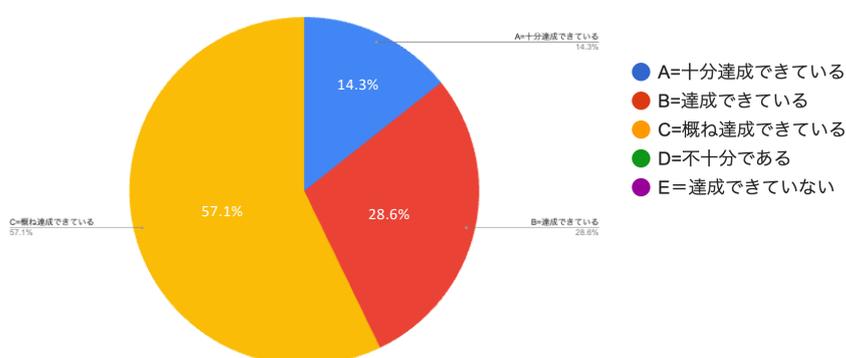
- あまり登校できていない生徒と保護者への丁寧な対応が引き続き行っていくことが大切。

【重点項目】 基本的生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安心と安全）

【重点目標】

- ・ 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- ・ 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 職員間のコミュニケーションが取れており、いろいろな事が共有できている。
- 授業後、机の上の消しゴム滓を自主的に捨てる様は、公共性が育まれていることがよく分かる。
- 野外活動を多く取り入れ外部の大人たちと触れ合う経験を作っている。その中で将来の自分を想像できるように事前学習を行っている。
- 【評価】 校風として自由なことが多いが、周りの人のことを考えている生徒も多い。周りに迷惑がかかる場合は職員が注意をしている。
【課題】 社会に通用する態度や言葉遣いを養成すること。
- 各種学校行事やボランティア活動を通して、他学年や校外の人との交流で少しずつ社会性などが身についた様子が見られたと思う。次年度は、様々な活動において生徒が主体性を発揮できるような仕掛けを作ってきたと考えている。
- 生徒の自主性を重視し過ぎる傾向にあった。

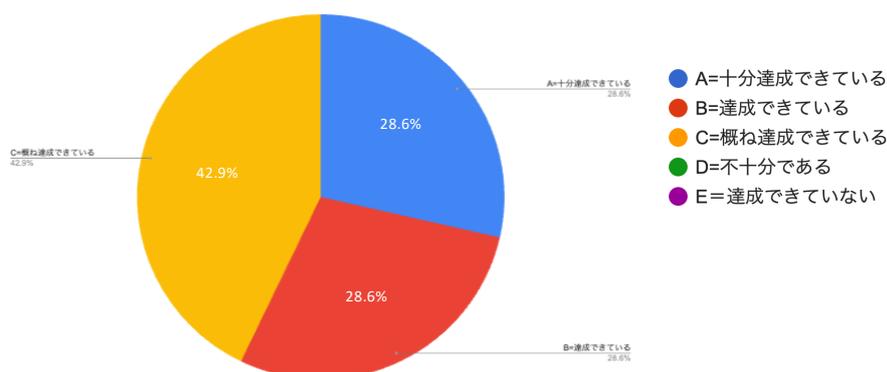
- ボランティア活動の充実で、社会の大人たちとの触れ合いも増えており、他者から見た自分を意識したり自己発見につながっていると感じる場面が多くみられたので、今後もさらに取り組んでいきたい。

【重点項目】 健全な心身の育成

【重点目標】

- ・ 心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- ・ 教育相談体制の充実
- ・ 校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ・ ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 校外でのボランティア参加も含めて、有意義な活動が多い。
- 健全な心身の育成のために教育相談をする時間、カウンセラーとの時間、校外学習、ボランティア活動を全て自由参加で生徒の意思を大切に行っている。
- 全体に良く取り組んでいる。
- 特にボランティアへの取り組みは非常に積極的であった。
- 心のケアを必要としていることが分かる生徒には概ね個別対応できていたが、さらに今後も充実させたい。

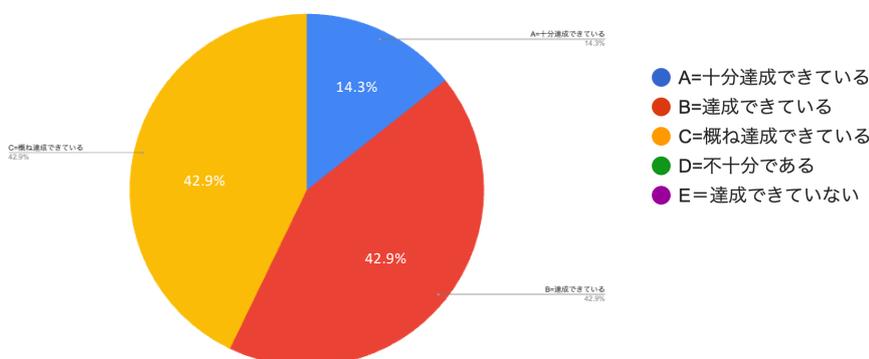
- 【評価】心のケアや道徳に関して不十分な点もある。ボランティア活動には力を入れている。
【課題】良くも悪くも自由参加の行事がほとんどなので、本当に道徳教育が必要な生徒にまで届いていないこと。
- 心の働きについて学習する出前授業を実践した。また、生徒一人一人とコミュニケーションをとり変化があると全職員に共有するようにした。次年度は支援が必要な生徒も多いため、より充実した教育相談体制を構築する必要があると考える。

【重点項目】 保護者及び家庭との連携

【重点目標】

- ・ 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- ・ 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 個々の生徒の状況をよく理解し、きめ細やかな指導ができていると思う。
- 学校が変わることへの不安などを軽減しスムーズに学習環境を整えるため家庭と連携している。
- 落ち着いて学習する様子から丁寧な生徒との関わりが結べていると思われる。
- 学力、障がいなど多様な生徒へのよりきめ細やかな取り組みが望まれる。
- 年度途中で多くの転編入生が入学しており、それぞれの状況に応じた対応や指導を行った。今後も保護者と連携をとりながら個々の状況に応じた対応、指導をしていくことが課題である。

- 【評価】 多様な生徒がいる中、それぞれに合った登校や学習の進め方を保護者にも面談時に提案している。

【課題】 動けない生徒への対応。

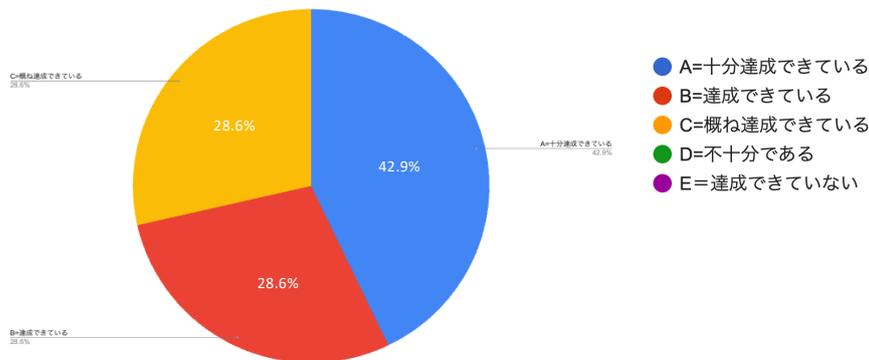
- 少しずつ環境に慣れていけるよう、声かけ等を行っている。また友だちができるよう、同じ趣味を持つ生徒と一緒に行事に参加できるよう他職員と情報共有しながら、日々接している。次年度も引き続き取り組んでいきたい。

【重点項目】 郊外活動への積極的な参加

【重点目標】

- ・ 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- ・ 特別教育活動への自主的参加奨励
- ・ ボランティア活動への積極的な参加奨励

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- すばらしいと思う。
- ラフティング、マリンスポーツ、サバイバルゲームなどの活動が多く、ボランティア活動では地元団体と協力し取り組むことができている。
- 【評価】 多種多様な学校行事（自然や地域、ボランティア等々）を用意しており、すべて自由参加であり、生徒の参加率も高い。
【課題】 興味が薄い生徒への対応。

- 意欲的な取り組みをしている。子どもたちも喜んでいる。

- 地域のニーズを踏まえたボランティア活動に取り組めた。
- 昨年度にはなかった学校行事を実施することができ、様々な生徒の心身の発育発達につながったと思う。次年度も生徒の主体性が育むことができる工夫を行っていききたい。
- 様々な内容の学校行事やボランティアに参加するよう、連絡網や声かけ等を通じて呼びかけているが、引き続き生徒に新しい体験を積み重ねてもらえるよう取り組んでいきたい。

【評価項目】 教務

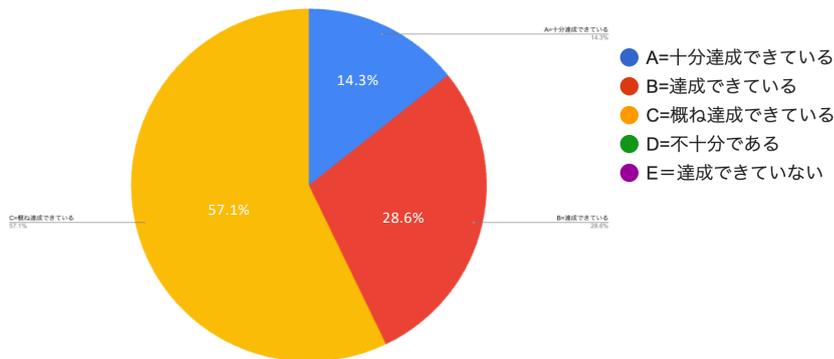
【具体的目標】

- ・ 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- ・ 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

【具体的方策】

- ・ 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- ・ 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- ・ スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- ・ レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- ・ テストに向けた勉強の支援を行う。
- ・ 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- ・ 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- ・ 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- ・ 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 個々の生徒に合わせた、きめ細やかな指導ができていると思う。
- 年間通しての活動をしているため他の科目との連携が取りやすい。また、季節や行事に合わせた内容を盛り込んでいる。
- 意欲的に出来ている。
- 【評価】 生徒が自分で後どれだけスクーリング、レポートをしなければならないかを管理できるようなシステムはできている。
【課題】 テストに向けた学習の支援、年間指導計画、教科教員間の連携。
- 全生徒が履修単位習得が出来た。
- レポートを自学自習で行っていくことが苦手な生徒がいたので、レポート実施日や個別での対応を行った。生徒の不安を取り除くことができたが、生徒の学力定着には不十分な点があった。
次年度は、各教科専用のレポート実施日を設けるなどの工夫を実施していきたい。
- 生徒によって登校や課題の状況に差があるため、学力の定着は難しい部分があるができる限りの対応はできた。ただし、さらに気を引き締めてできる限りの支援を行いたい。

【評価項目】 進路

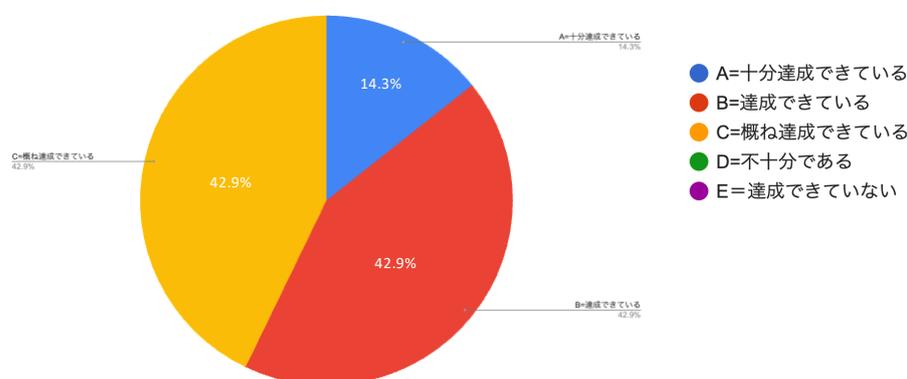
【具体的目標】

- ・生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- ・進路における情報収集を図る。

【具体的方策】

- ・自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- ・保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- ・進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- ・学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- ・個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 保護者との連携がよく取れていると思う。
- 定期的な三者面談だけでなく、保護者も交えてのガイダンス、進路希望調査など家庭と学校の方針のズレを無くしている。
- 【評価】 三者面談は年2回行っている。1年次から進路の情報提供の場を設けている。
【課題】 将来何をしたいかわからない人が一定数いる。その人たちの進路を導くこと。

- 丁寧に良く取り組んでいる。
- 三者面談を定期的の実施出来た。
- 校内進路ガイダンスの実施や適学適職検査、総合的な探究の時間など、自分の進路に対して考える時間を設けている。今後も全ての学年において、個に応じた進路指導や充実した情報提供を行う必要があると考える。
- 進路については全学年対象の進学・就職ガイダンスを行い、早めに情報収集を呼びかけている。また出来る限り本人、保護者と意見交換をし個別対応と一緒に情報収集を行った。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】生活指導

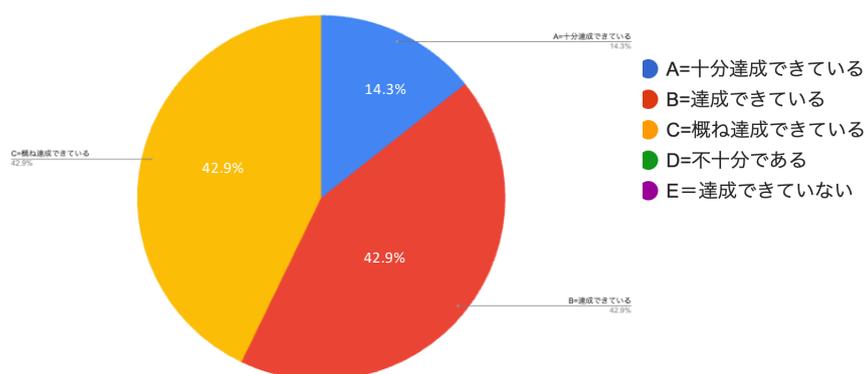
【具体的目標】

- ・ 学習する環境を整える。
- ・ 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- ・ 思いやりのある心の育成を図る。

【具体的方策】

- ・ 場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- ・ スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- ・ 人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 雰囲気がよく、生徒も自然と礼儀や言葉遣いを学べる。
- その場や相手に応じた対応、言葉が使えるように指導をしている。自分から言葉を発するのが難しい生徒には筆談などで意思を確認している。
- 出来ているのではないか。
- 【評価】 フリースペースでも騒がしくなりすぎない。注意をすればすぐに正すことができる。
【課題】 他の人に注意される前に自分で気づくことができるようになること。
- スクーリングなどの時のエチケット指導をした。
- スクーリングや出前授業を通して、規範意識や公共マナーの向上を図り、場合によっては個別に対応を行った。
- 保健体育のスクーリングや警察、消防の取り組み等、また生徒との会話中で指導を心がけた。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】 いじめ対策

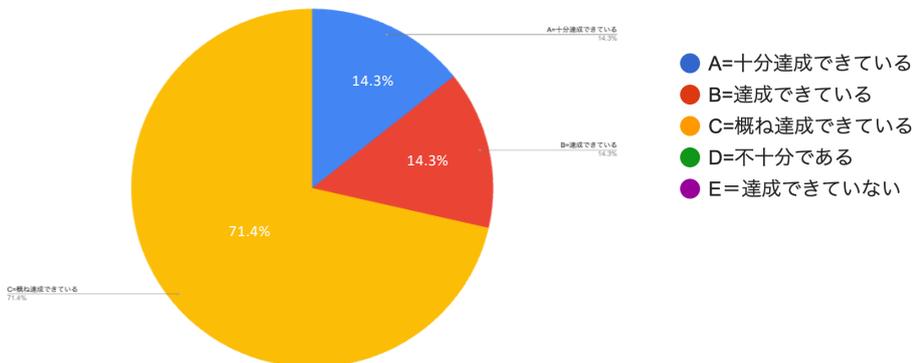
【具体的目標】

- ・ いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- ・ 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ・ ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- ・ 外部機関との連携を図る体制づくり

【具体的方策】

- ・ 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- ・ 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- ・ 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- ・ インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 一人ひとりをよくみており、生徒との信頼関係が築けている。
- 出来ている。
- 職員間での情報共有を毎日行いどの職員でも対応できるようにしている。
- 【評価】 心配がある生徒とは個別に話を聞いて、職員間で情報を共有している。
【課題】 学校外（SNS等）の状況までは把握ができないこと。

- 毎日の教員打ち合わせ時に生徒情報を共有している。
- 登校してきた際には積極的に挨拶や声掛けを行い、生徒の変化に気づくように心掛けている。また、教職員間の情報交換をこまめに行い、一貫した指導が行えるようにしている。今後もSNS等の見えない部分にも気を配り、「いじめ」を未然に防ぐ対応をしていく。
- 全ての生徒にとって安心安全に過ごせる教室になるよう、生徒の言動等にも注意を払い対応した。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】 安全健康管理

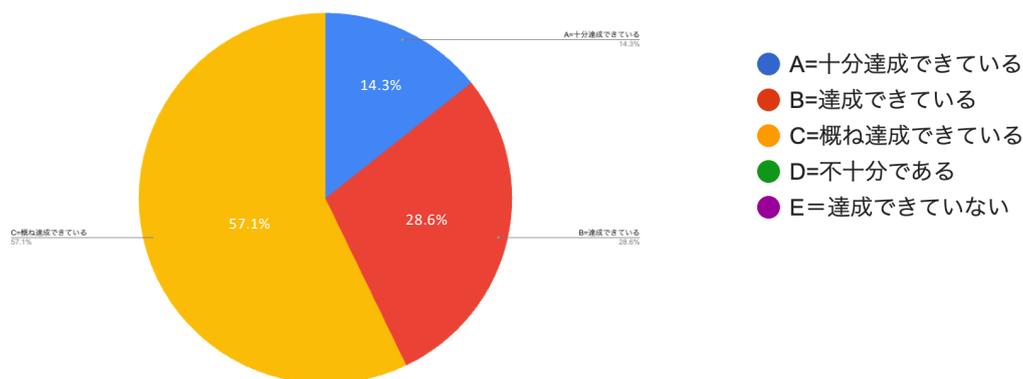
【具体的目標】

- ・ 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- ・ 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う

【具体的方策】

- ・ 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活が送れるように努める。
- ・ 基本的生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- ・ 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- ・ 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- ・ 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- ・ 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 個々の生徒の状況を把握し、きめ細やかな対応ができている。
- 出来ている。
- 健康管理が必要な生徒へはそれぞれの生活に合わせて短期的な目標を立て生活改善を促していく。
- 【評価】 家から出るのが難しい生徒には家庭訪問を随時行っている。生活リズムが崩れやすい生徒には、学校に来る日を指定するなどしている。
【課題】 カウンセラーの先生が常駐していない。
- 課題が生じた場合は、家庭訪問し、生徒、保護者をしっかり話し合うことができた。
- 登校した際やLINEなどで最近の体調などを聞くようにしている。
今後の進路のことを考えた指導を行っている。
- 市の啓発活動の利用、スクーリング、学校行事の中で健康・安全に暮らすことについての啓発となるような声かけは常に行っている。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】 生徒募集

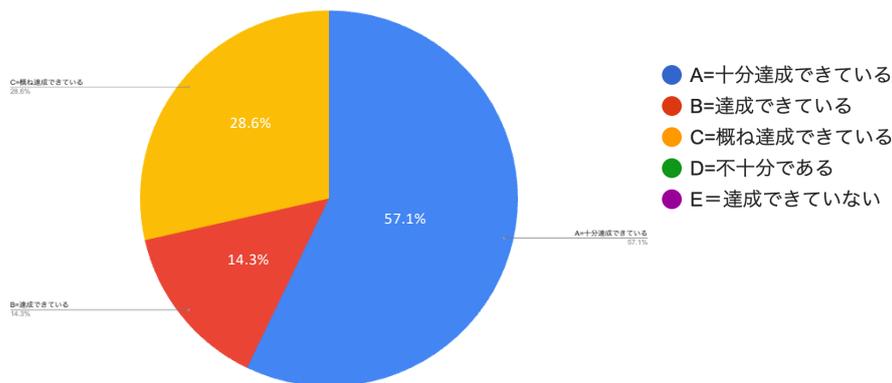
【具体的目標】

- ・ 生徒募集のための広報に努める。
- ・ 地域との連携を深めながら
- ・ 本校の教育目標を理解してもらう。

【具体的方策】

- ・ 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- ・ 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学校訪問、説明会等、積極的である。
- 取り組みが確かな成果をあげている。
- 地域の中で中学校との連携を大切にし情報共有をし学校の方針を理解いただいている。
- 【評価】 独自でパンフレットやチラシ等も作っている。学校行事があるたびにHP、インスタ、FBも更新し、学校の様子がよくわかるよう工夫している。
【課題】 最新情報を載せるため毎年パンフの更新をしているため年度初めに時間を要する。
- パンフレット作製、ホームページ、インスタグラムなどで、出来るだけ生きた情報の提供が出来た。

- 校舎独自のHP・SNSの定期的投稿、学校訪問などの日々の広報活動や、外部相談会出展など、様々な媒体において、生徒募集を常に意識している。通信制の需要が高まっていく中で、今後も地道な学校訪問や相談者対応の充実を図るなどの広報活動を行っていく必要がある。
- 中学校の担任に向けてや育委員会主催、また中学生に向けてなど様々な説明会等を行い、松陰の取り組みを伝えている。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】 教科

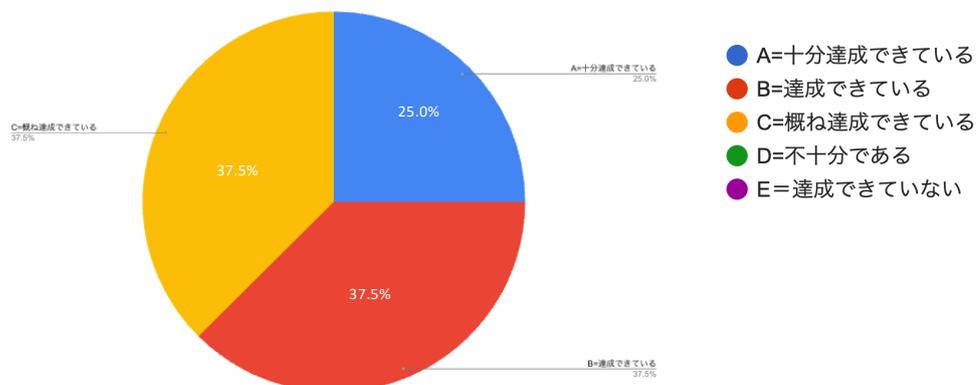
【具体的目標】

- ・ 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- ・ 教科の特性を生かした指導
- ・ 担当教科との連携による生徒の指導と把握

【具体的方策】

- ・ 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- ・ 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- ・ 生徒一人一人の能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- ・ 基本的生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- ・ レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- ・ 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 個々の生徒の学力到達度に合わせた指導ができている。
- 【評価】 多数の生徒がいる授業の中でも、個々の能力に合わせた授業実施ができていると思われる。レポート作成、また進路指導の添削も教員一人一人が熱心に取り組み、よりよい進路先に向けての取り組みが伺える。
【課題】 生徒の進路選択の為に、教員1人当たりの拘束時間が少しでも減らせるよう、生徒個別に連絡を取りたい手段をヒアリングしても良いかもしれないと思っている。
- 良く出来ている。
- 【評価】 教科ごとに社会に出たときに必要な力が伸ばせるよう工夫している。
【課題】 学習内容の定着。
- レポート指導において課題のあった生徒には個別に指導を行った。
- 個々の生徒の状況に合わせて指導している。
- レポートやスクーリングの進捗状況から個々に指導を行っていった。また、レポート添削後の教員のコメントをモチベーションにしている生徒もいるので、個に応じたコメントをこれからも行っていきたい。
- スクーリングに出席した生徒の人数やメンバーにより、内容に変化をつけた。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】 1年生

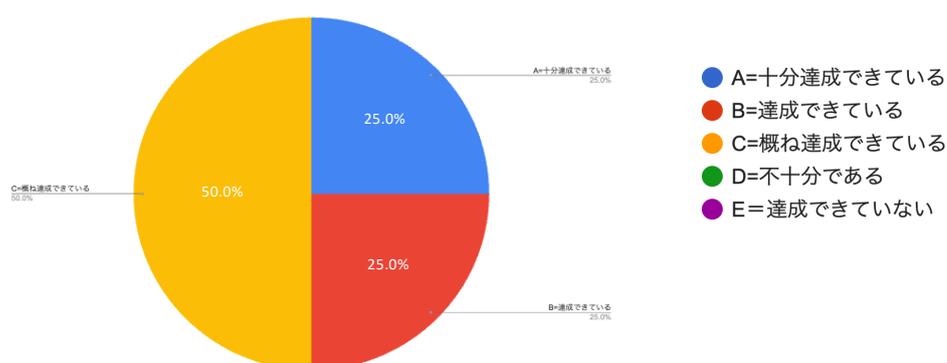
【具体的目標】

- ・ 基本的な生活習慣の確立と学習活動の定着化
- ・ 学習環境作りの推進
- ・ 多様な生徒への配慮

【具体的方策】

- ・ 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境作りを目指す。
- ・ 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- ・ 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。
- ・ 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- ・ 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 参加しやすい授業環境が作れている。
- 全てにおいて、生徒へ積極的な声掛けやきめ細かい教育ができていると思われる。また、授業時と休憩時間や談話時間の緩急もきちんとしており、環境作りはどの高等学校よりも優れていると思われる。
- 大変、良く出来ている。
- 【評価】 1年生はシステムに慣れていないので、かなり手厚く何度も繰り返し教えている。
【課題】 様々な生徒への個別で行う対応。
- 特色ある学校行事を毎年更新する取り組みが出来た。ほぼ90%の参加率を達成することが出来た。
- 中学校までとは大きく生活が変わるため生活習慣の安定を第一に考え落ち着いて生活できるように心がけている。
- 入学オリエンテーションや1年生だけの登校日を設けたり、生徒保護者の新しい環境・教育方法に対する不安の軽減を目指した。また、早期に校内イベントを企画したことで、生徒同士の関係構築にも繋がった。

- 全ての生徒に個別指導や対応は難しいが、できる限り本人の希望を叶えられるよう対応した。引き続き取り組んでいきたい。

【評価項目】 2年生

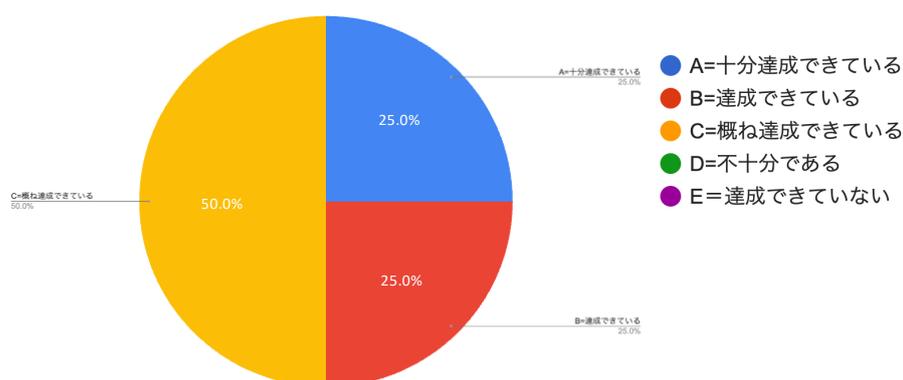
【具体的目標】

- ・ 学習の習慣化の定着による学力の向上
- ・ 進路意識の向上を目指す。
- ・ 学校行事への積極的参加

【具体的方策】

- ・ 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- ・ 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- ・ 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- ・ 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学習意欲を高め、やる気を起こさせる環境が整っている。
- 生徒同士の交流,自ら人間関係を築こうとする場面あり,学校行事にも積極的な参加する姿勢が伺える。

- 良く出来ている。
- 【評価】 様々な体験活動に参加を促し、進路についても早めに目星をつけるよう助言している。
【課題】 学力の向上。
- 地域の大学や専門学校、地元企業との連携を深めることが出来た。
- 進路に意識を向けそこへ向け必要なことを各自で取り組めるように指導している。
- 積極的に活動する生徒が多く、学校行事時1年生をリードする様子も見られた。
3年生では、最高学年として下級生の見本となってほしい。
- 1年経つと成長を見せ、自分で計画して課題をこなすことができる生徒も増えるので、引き続き生徒が自主的に取り組めるよう指導していきたい。

【評価項目】 3年生

【具体的目標】

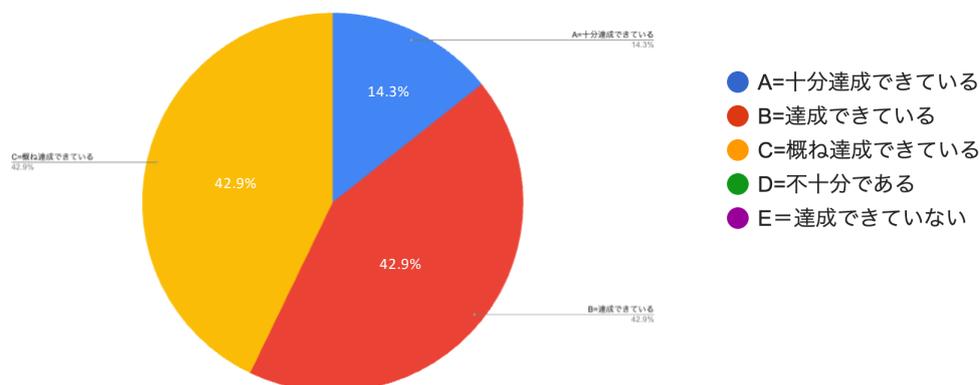
- ・ 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- ・ 進路希望の実現
- ・ スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- ・ 学習意欲の持続・学力の向上
- ・ 進路指導の充実

【具体的方策】

- ・ スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- ・ 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- ・ 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。

- ・ 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実にを行う。
- ・ 常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 進路指導が充実している。
- 良く出来ている。
- 【評価】 レポートやスクーリングを早めに終わらせ、自分の希望する進路に進むため、履歴書や面接練習も早めに個別で行っている。
【課題】 進路を決め切れない生徒への対応。
- 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出 やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実にを行う。
- 生徒への連絡網を充実し、その活用を図ることが出来た。
- 各々の進路実現に向けて、個に応じた指導が実践できたと思う。
次年度は進学を検討している生徒が多いため、より計画的な進路指導が課題である。
- 各自のスクーリング状況などを把握できるシステムをとっているが自主性が必要となってくるため学習意欲の低い生徒に対する対応が今後も必要となってくる。

【評価項目】 事務関係

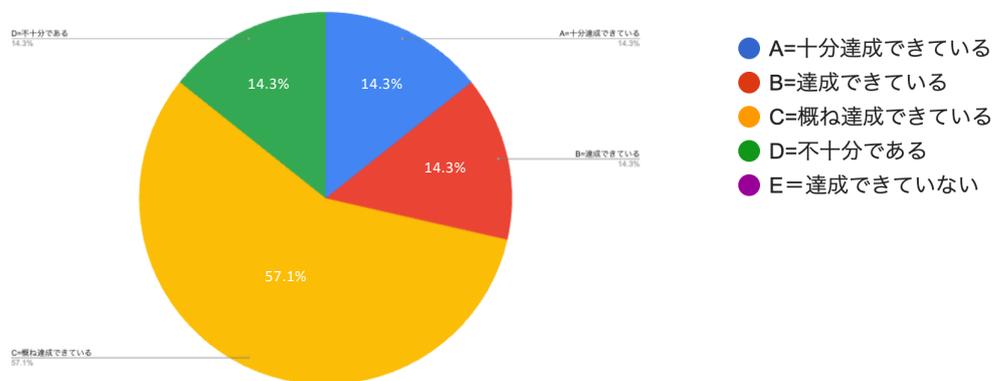
【具体的目標】

- ・ 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- ・ 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- ・ 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

【具体的方策】

- ・ 学割や定期、願い届出等に対する処理を適切に行っていく。
- ・ 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- ・ 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 保護者、生徒との信頼関係が築けている。
- 良く出来ている。
- 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- 縦割りのな処理になりがちな面も見られた。
- スムーズに行うことができなかった点があるため、次年度は早々に取り組みたいと考えている。

- 保護者からの様々な意見を真摯に受け止めてはいるが、なかなか受け止め切れていない保護者の想いもある。できる限りは今後に対応するが、限界はあると思う。
- 【評価】 できる限り迅速に対応しようとしているが、生徒対応を優先しがちである。
【課題】 〆切を守るようにする。